

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の医療法人が母体であり、慣れ親しんだ地域で昔からの馴染みの主治医が継続的に治療・経過観察を行いながら、病気に対する不安を取り除き、安心して生活できる場所を目指しています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念をホーム内の見やすい位置に提示し、職員全員が常に意識を持ち、仕事に従事しています。また、ミーティングや反省会の場で、確認しあっています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族に対しては入居時に契約書・重要事項説明書にて説明しています。地域に対しては、自治会への入会や、運営推進会議の場で地域の自治会長さんや民生委員さんに説明しています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や近隣施設（スーパーや薬局など）に出かける際、近隣の方と挨拶を交わしたり、声かけをしています。家庭菜園をしている方からキャベツなどの野菜や花をいただいたり、気軽に声をかけていただける関係になっています。	○
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入会し、地域の行事にも参加を促しています。地域に障害者の施設もあり、相互に協力しあっています。また、小学校との交流やボランティアによる交流も定期的に行っています。	○
			530運動を始めたことで、地域の方から声をかけていただける機会が増えました。運営推進会議では自治会長さんや民生委員さんとの交流もでき、施設に対する理解を深めています。
			地域の小・中学校の体験学習や見学の受け入れにて、体験された学生さんが継続的に訪問され、利用者との交流を深めています。

岐阜県 グループホーム静春 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	水害が懸念される地域のため、運営推進会議の場で実際の災害時には相互に助け合えるよう、具体的な内容を話し合っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	反省会や各部署毎のミーティングなどの場を利用し、評価の意義や内容について話し合っています。また、前回指摘された項目については、職員全員で改善策を検討しています。	○	前年度は項目の改正があり戸惑いましたが、今年度は前もって前回の評価を各フロアに配置し、職員全員が意識を持って取り組むことができました。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の場で評価結果報告を行っています。その他、行事報告や施設の取り組み、家族からのアンケートの紹介や問題事例の報告、センター方式を活用したサービス計画など紹介し、意見を伺っています。	○	2ヶ月ごとに会議を開催しており、メンバー同士も馴染みの関係ができ、活発な意見交換をしています。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営上の問題や、サービスの課題、問題事例などがあつた場合、市役所や包括支援センターなどに電話または職員が直接出向き、相談・報告をしています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	機会があればできるだけ研修に参加し、参加した職員は施設に持ち帰り、他職員に周知するよう、パンフレットや研修資料をいつでも閲覧できるようにしています。施設での金銭管理は利用者や家族と相談し、必要に応じて制度の紹介をします。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての資料を研修室に置き、常に意識・学習できるようにしています。また、ミーティングの際に職員間で確認・話し合い、防止に努めています。	○	職員一人で抱え込むことのないよう、コミュニケーションを密にし、ストレスを軽減します。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書にて説明するとともに、不安や疑問点を確認し、十分な理解・納得の上で、入居していただいています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は主に専属の者が配置され、信頼関係が構築されています。話しやすい雰囲気作りを心がけ、常に利用者の声に耳を傾けるよう努めています。利用者の要望はミーティングや申し送りで話し合い、できるだけ要望に添えるよう努めています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者は近隣の方が多く、家族の面会も頻回で、その都度報告していますが、必要に応じては電話やメールにて連絡しています。また、毎月個別の通信を送付し、暮らしぶりや金銭出納、検査結果や身体状況報告、新人職員の紹介などを行っています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱は全く機能しなかったため、毎月の通信にアンケート用紙を同封し、いつでも意見が表せられるよう改善しました。寄せられたアンケートに対してのコメントは個別または全家族に郵送してお返事しています。また、運営推進会議の場でもその都度紹介し、意見を伺っています。	○ アンケート用紙を送付することで、家族からの率直な意見を伺うことができるようになりました。アンケートは申し送りノートに添付し、全職員が周知・確認しています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全職員参加にてミーティングを行っており、意見や提案を聞く機会を設けています。また、必要に応じてその都度個々の意見を聞き、介護現場の改善に反映させています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務は利用者の状況や職員の意見を聞き取り、無理のないよう配慮し調整しています。	

岐阜県 グループホーム静春 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	フロアや利用者毎に担当の職員を決め、できる限り馴染みの職員が対応できるよう配慮しています。新人職員が加わる時は、慣れるまで研修期間を置いたり、ベテラン職員と組むようシフトを調整し、利用者への負担や不安を極力減らすよう努めています。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修や全職員参加の研修を行ったり、外部の研修を受けた職員が職場に持ち帰り、内容を紹介しています。また、経験の浅い職員に対し、ベテラン職員が日常的に指導や相談に応じ、介護の質の向上に努めています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入し、勉強会への参加や情報交換など行っています。また、他の施設を見学したり、他施設の状況や問題などを市や地域包括などにも伺い、参考にしています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	週1回のスポーツ交流や食事会、忘年会、法人全体の旅行などでリフレッシュし、ストレスを軽減するよう取り組んでいます。また、上司や職員間で話しやすい関係がつけられています。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は各種資格試験や研修の案内を職員に通知し、自己研磨できるよう働きかけています。また、資格取得や研修に参加できるよう、シフトの調整に配慮しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	自宅訪問や施設来所・電話にて、時には数回に渡り面会や相談を行い、ゆっくり時間をかけて十分な聞き取りができるよう心がけています。様式を利用し、聞き漏らしのないよう工夫しています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人からの聞き取りでは十分でなく、本人の前では話しづらい内容もあると考慮し、時には家族のみで別の機会を設けて聞き取りを行っています。話しやすいムードに配慮し、信頼関係を構築するよう努めています。本人・家族との意見の食い違いがあるため、十分確認しています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時々で正しい状況判断を行うとともに、本人や家族が求めている必要なニーズを引き出し、必要に応じて他のサービスへつなげるよう説明や情報提供・連絡調整を行っています。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス開始前にまず見学をしていただき、説明を行い、施設の形態を十分理解・納得していただいた上で入所していただいています。また、入所前に、他の利用者との交流やデイ利用から慣れていただくような提案をするなど安心して利用につなげられるよう工夫しています。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の職歴や生活歴、趣味や得意とすることを活かしていただけるよう、例えば習字の先生には手本を書いてもらったり、農家の方には花や野菜の育て方を教えてもらいながら、年長者として尊敬し、ともに学び支えあうことで信頼関係を築いています。	○ 職員は若い年齢層が多く、植物栽培やおやつ作りなど、利用者の方から教わることも多く、利用者にとっては生きがいになっていると思います。野菜は収穫して食べるまで楽しみがあり、それぞれができる部分を役割分担し助け合っています。

岐阜県. グループホーム静春 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会や電話、通信などにより暮らしぶりを伝え、一緒に支えていけるよう働きかけています。時には一緒に散歩に行っていたり、行事の参加を募るなどして協力いただいています。	○	面会の少ない家族でも疎遠にならないよう電話やメールで連絡を取ったり、毎月個別の写真入の通信で様子を伝え、なかなか会えない家族とも喜怒哀楽をともにできるよう働きかけています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所により家族との距離が離れてしまうことなく、良い関係が継続できるよう配慮しています。例えば面会時には家族ともコミュニケーションを取るよう心がけたり、また、時には居室で水入らずで気軽に会話できるよう配慮しています。	○	面会の少ない家族でも関係が疎遠にならないよう、時には利用者に家族宛に季節の葉書を書いていただき郵送したり、電話をかけるなど支援しています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者は近隣の方が多く、家族や友人・知人の面会も頻回にあります。面会者には気軽に来訪していただけるよう、声かけやお茶を出すなどの接待により、面会しやすいムードを作るよう心がけています。	○	馴染みの理美容院や喫茶店などの外出が継続できるよう支援しています。時には逆デイで、自宅訪問も行っています。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	専属職員の対応により、個々の性格や身体状況を把握し、利用者同士が助け合ったり、孤立しないような関係作りができるよう配慮しています。利用者同士でトラブルとならないよう、時には席替えをしたり、間に入り対応しています。	○	散歩や買い物などの外出時に車椅子を押していただいたり、皆で楽しめるようなレクを取り入れ、利用者同士の関係が構築できるよう努めています。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も気軽に相談していただけるような声かけをしています。また、契約終了後、問題が予想される場合は、経過を確認するなど関係を断ち切らないよう支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の思いや希望に関心を持ち、個人を尊重し、その人らしく暮らしていけるよう支援しています。認知などのため、意見が把握できない方に対しては、家族や関係者からの聞き取りにより情報収集に努めています。	○	職員同士でそれぞれが感じている「利用者の意向」を話し合い、個々の気持ちを大切にすることが大切です。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面接において専用のシートを用い、本人・家族から漏れないよう入居前の暮らしの把握に努めています。入所後もコミュニケーションの中で知り得た情報をスタッフ間で共有し、個々の把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の排泄のタイミングや食事、行動などの日常生活をカルテに記録し、利用者の状態や出来る力を職員全員が把握し、日々の暮らしに役立てるよう支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者がその人らしく暮らせるよう、本人・家族・来訪者などと話し合ったり、スタッフミーティングの場で意見を出し合い、サービス計画を作成しています。	○	以前は担当者が中心になって作成していましたが、関わっている職員全員で意見を出し合い作成できるようになりました。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回の全員ミーティングや状態が変化したときに意見やアイデアを出し合い見直しています。常に新鮮な目を持ち、見直しができるよう心がけています。また、関わっている全員の意見が反映されるよう話し合っています。	○	必要に応じては、センター方式の様式を利用するなどして、個々の状態把握を十分に行い、サービス計画に反映しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のカルテにより、職員全員が情報を共有し、共通理解の下、介護計画の見直しを行っています。カルテには時系列での行動や排泄、食事量、体重やバイタル、レクの参加状況、会話の内容、面会者など日々の生活を細かに記載しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設のデイの行事や慰問などに参加したり、通院や近所の喫茶店、スーパーなどへの外出を馴染みの職員が介助しています。	○	在宅中、併設のデイサービスを利用していた方もあり、入所前からの馴染みの利用者との交流も継続しています。また、希望の方には自宅訪問などの支援も行っています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察や消防には挨拶に伺い、避難訓練など協力いただいています。地域のボランティアの定期的な慰問（お茶・音楽・ダンスなど）や小学校、身障の施設との交流も行っており、協働しながら支援しています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域包括支援センターの行う講習や会議に参加したり、ケアマネの研修に参加し、情報収集に努め、本人の状況に応じていろいろなサービスが紹介できるよう努めています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括と連絡を密にし、必要に応じて相談を依頼できるよう心がけています。		

岐阜県 グループホーム静春 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>入居者は近隣の方が多く、もともとからのかかりつけの方や、家族がかかりつけという方がほとんどで信頼関係ができています。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入退居等で住居が変わる場合、家族や他の関係者に施設での身体・生活状況を伝え、移り住むダメージを極力少なくするよう心がけています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの個性を尊重し、誇りやプライバシーを損ねることのないような声かけや対応に配慮しています。時には居室で個人的に話を聞いたり、他者との間に入りトラブルとならないよう留意しています。また、記録の保管や取り扱いには十分な配慮をしています。	○	馴染みの職員の対応により、馴れ合いになりすぎないよう職員同士がお互いに注意しあっています。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定できる方には、できるだけ自分で選択できるように支援しています。困難な方には個々の能力に応じて表出できる方法を検討し、対応しています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの週間や生活歴、趣味や習慣等を考慮し、「その人らしさ」を大切に支援しています。(食事や入浴時間、嗜好品、外出など)	○	本人の希望で入浴や食事時間をずらしたり、食事の内容を変えたりしています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	できる方にはその日の気分や好みにより服を選んでもらっています。出来ない方には簡単な選択肢(2種類から選ぶ等)を準備し、自己決定できる場面を作る工夫をしています。理美容に関しては個々の希望で、行きつけの場所か施設訪問か選んでもらっています。		

岐阜県 グループホーム静春 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	自分の好きなものを買に行けるよう、外出支援をしています。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	オムツ使用の方でもできるだけ自然なかたちで排泄できるよう、トイレ誘導しています。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	個々の希望を十分聞き取り、午前・午後に分けて入ったり、安全にゆったり入浴できるよう、職員が二人対応で入浴しています。一般浴槽入浴不可の方は機械浴にて安全に入浴していただいております。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	農家の方にはトマトやイチゴ等を育ててもらったり、毎日喫茶店に通っていた方には、馴染みの喫茶店にお連れしたりして、楽しみごとを作っています。

岐阜県 グループホーム静春 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や家族と話し合い、一人ひとりの能力に合わせた管理をしています。出来る方には買い物の機会を作り、自分で支払うことで自信につながるよう支援しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望や季節、天候に応じて周辺の散歩や本屋・スーパー・薬局・喫茶店・外食等の外出を支援しています。	○	施設の中だけで閉じこもることのないよう、外出の機会を確保しています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとの外出（梅や桜などの花見・初詣など）や歴史博物館などの見学、自宅訪問等に家族の参加を募り一緒に出かけています。	○	個別対応として「DVDを借りたい」「昔馴染みの喫茶店に行きたい」「ケンタッキーが食べたい」などの個々の希望に添った対応をしています。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望によりいつでも電話や手紙のやり取りができるよう支援しています。携帯電話を持っている方も数名あり、必要に応じて介助しています。普段書かない方にもレクを利用し葉書を書いてもらい、家族や友人から返事をもらって喜ばれています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者がいつでも気軽に自由に来ていただけるよう、職員がお茶を出したり、一緒に会話を楽しんだりしています。時には居室に案内し、ゆっくり気兼ねなく話ができるよう心配りをしています。	○	地元地域からの入居者が多く、昔馴染みの近所の方や婦人会、日赤奉仕団の同志の方など面会は頻回です。地元で収穫した野菜や果物の差し入れもあり、皆さんで栽培方法や調理方法など楽しそうに話し合ってみえます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修やミーティングの場で拘束の理解を促し、できるだけ身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	○	ベッド上から転倒の危険のある方に対しては、居室にセンサーを設置し、身体拘束をしないよう配慮しています。

岐阜県. グループホーム静春 (2F)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>リビング南側は全面ガラスで中庭からの採光も十分あり、閉塞感は感じられないと思われます。鍵をかけることで本人や外部の方が、疎外感や閉塞感等の心理的な影響がないよう心がけます。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		


岐阜県 グループホーム静春 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	本人・家族に入居時または身体状況の変化時に話し合っています。本人の安全が第一ですが、安全を重視するあまり自由が失われその人らしい暮らしができなくなる弊害もあるため、できるだけ抑圧感のない生活ができるよう支援します。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	個々のカルテやバイタルチェック表、排泄チェック表等を活用し、変化や異常の早期発見につなげ、迅速な対応ができるよう、心がけています。異変時には早急に医師に報告し、対応しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をカルテにファイリングし、内容を確認しています。薬は法人母体クリニックの看護師が管理し、症状の変化時にはその都度報告しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便は個々のサイクルや習慣の違いがあるため、排泄チェック表を用い、日にちや時間・回数・量や状態を確認し、排泄パターンを把握しています。便秘の方には運動を促したり、水分や食事量に注意しオヤツや食事の変更等工夫しています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を認識し、本人の習慣や能力を考慮しながら手入れの支援を行っています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士により1日約1700kcal前後の食事を提供しています。摂取量は記録表に記入し把握しています。また、おやつや食事時間以外にも、入浴後や気温等により水分補給を促しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症やそのケアについては法人母体クリニックの医師より細かく指導があり、主な感染症の対処法を研修室に提示し実際の対応が迅速にできるよう話し合っています。また、インフルエンザ等の流行る時期には改めて指示があります。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1階厨房にて衛生的に管理されています。フロアのキッチンは毎日掃除し、冷蔵庫内の食品の賞味期限のチェックなども行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は全面ガラスで明るく開放感があり、施錠もしていません。また、季節ごとの花が飾られ、親しみやすい空間になっています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアは明るく時間や気候によりカーテンや窓の開閉で音や光を調整しています。写真や共同制作のクラフトを飾ったり、プランター菜園などを行い、居心地の良い場所となっています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓や畳・ソファで歓談したり、ゆったりくつろいだりして過ごしてみえます。冬場は日当たりの良い廊下に移動し、日向ぼっこをしながらとうとされる場面も見られます。プライバシーを考慮しつつ、人の気配を感じられることで孤独を感じることのないよう配慮しています。		

岐阜県 グループホーム静春 (2F)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	慣れ親しんだ家具や寝具・絵・仏壇・趣味の道具等を各々持ち込まれ、居心地の良い空間を作っています。入居後も家族からのプレゼントや写真などで居室を飾られています。	○	慣れ親しんだ物や好みの物に囲まれることで、居心地の良い空間ができ、安心して暮らしていただけるよう支援します。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	エアコンが完備されており、気温や体調・希望を確認しながら適切な温度に保たれるよう配慮しています。また、季節や時間帯等により窓の開閉でも調節しています。	○	居室の個別のエアコンを自分で調節できない方もあり、確認しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒等のリスクがある方でも拘束することなく、できる限り自分で動けるよう支援しています。(ベッド柵に鈴をつけたりセンサーを設置しています) また、場所が分らず不穏にならないよう目印や名前を付けています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の心身の状態に合わせて場所の目印を付けた紙に書いたりすることで不安を無くし、活躍できる場面を作ることで自信を持ち、自立した生活ができるよう支援しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダや中庭でプランター栽培を行い、利用者から花や野菜の育て方を学び、職員と共に楽しんでいます。季節によりベランダでティータイムやバーベキューを行ったり2階から3階に朝顔を伸ばしたりしています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホーム 静春 (2F)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者、職員共に近隣地域の方が多く、地域との関りが密になっています。この一年間では530（ゴミゼロ）運動と称して、地域のゴミ拾いや草取りなどの清掃作業を行い、より地域に密着した施設となるよう取り組みました。

また、2か月毎に運営推進会議を開催し、施設の活動を報告したり、災害などについて活発な意見交換を行っています。

日常生活では、個々の希望を取り入れた外出や外食の機会を増やし、楽しみごとを作り、生き活きとその人らしく暮らしていただけるよう努めています。

運営母体の医療機関との連携により健康管理を行い、安心して生活していただけるよう支援しています。